



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社  
 コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,768	27.6	891	60.3	954	52.2	664	50.4
27年3月期第2四半期	13,138	16.1	555	△29.7	627	△25.1	442	27.6

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 594百万円（55.5%） 27年3月期第2四半期 382百万円（10.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	37.85	36.77
27年3月期第2四半期	25.17	24.59

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	32,651	24,264	72.6
27年3月期	29,996	23,752	77.5

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 23,701百万円 27年3月期 23,261百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	13.3	950	31.4	1,050	11.9	700	26.6	39.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（平成27年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	18,218,901株	27年3月期	18,218,901株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	653,519株	27年3月期	653,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	17,565,421株	27年3月期2Q	17,565,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の経済政策等を背景とした円安・株高傾向が続き、企業業績や雇用環境の改善がみられるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速による輸出の鈍化、設備投資の抑制など、景気回復は足踏み状態となっており、先行きについて不透明な状況も懸念されます。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビやBDレコーダ、カーナビ等の民生機器関連は一部に需要の回復がみられるものの、全体としては厳しい状況が続きました。スマートフォンやタブレット端末等の通信機器関連は概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高167億68百万円(前年同期比27.6%増)、営業利益8億91百万円(同60.3%増)、経常利益9億54百万円(同52.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億64百万円(同50.4%増)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、長期契約の更新や既存顧客の需要増により概ね好調に推移いたしました。自社製CPUボード等の組込み製品は、防衛、インフラ向けの受注増等により好調に推移いたしました。また、ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、引き続き堅調に推移いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、顧客開発スケジュールの遅れに伴い稼働率が一時的に落ち込んだ影響などにより収益性がやや低下いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発は振るわなかったものの、組込みソフトウェアのライセンス販売が売上に貢献いたしました。

その結果、当事業の売上高は88億88百万円(同10.3%増)、セグメント利益は7億29百万円(同44.3%増)となりました。

## 〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場やデジタル家電、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。自社製テストシステムは、海外向け出荷が一服しているものの、国内向けは引き続き好調に推移いたしました。ハードディスク部門・デバイス部門においては、OA市場、テレビ市場における受注回復等により売上は増加いたしました。また、STAr Technologies, Inc.は信頼性試験装置が売上に寄与いたしました。

その結果、当事業の売上高は78億80百万円(同55.2%増)、セグメント利益は4億68百万円(同56.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、326億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億54百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は83億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億42百万円増加しております。これは主に買掛金が減少したものの短期借入金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産は242億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億11百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は72.6%となり、前連結会計年度末に比べ4.9ポイント低下しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成27年5月12日に公表いたしました平成28年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成27年11月9日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社でありましたギガヘルツテクノロジー株式会社の株式を追加取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による、当第2四半期累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,553,473	2,947,337
受取手形及び売掛金	7,718,270	10,127,493
商品及び製品	2,311,566	2,571,232
その他	2,554,730	2,987,222
貸倒引当金	△13,548	△27,858
流動資産合計	16,124,493	18,605,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,931,014	7,980,554
減価償却累計額	△4,016,344	△4,091,387
建物及び構築物（純額）	3,914,669	3,889,166
土地	5,731,631	5,731,631
その他	1,658,082	1,639,194
減価償却累計額	△1,148,156	△1,118,091
その他（純額）	509,925	521,102
有形固定資産合計	10,156,225	10,141,901
無形固定資産		
のれん	1,387,135	1,427,450
その他	344,891	317,597
無形固定資産合計	1,732,026	1,745,047
投資その他の資産		
投資有価証券	745,276	884,504
その他	1,244,068	1,280,055
貸倒引当金	△5,724	△5,751
投資その他の資産合計	1,983,620	2,158,809
固定資産合計	13,871,873	14,045,758
資産合計	29,996,366	32,651,185

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080,302	1,788,642
短期借入金	—	1,600,000
未払法人税等	106,914	403,251
賞与引当金	128,651	233,643
役員賞与引当金	—	17,676
その他	3,349,921	3,793,300
流動負債合計	5,665,789	7,836,513
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,114	74,847
退職給付に係る負債	157,559	163,349
その他	331,122	311,839
固定負債合計	577,797	550,036
負債合計	6,243,586	8,386,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,323,460	7,324,112
利益剰余金	5,324,689	5,866,574
自己株式	△258,521	△258,550
株主資本合計	22,906,787	23,449,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,006	104,971
繰延ヘッジ損益	△14,497	2,408
為替換算調整勘定	164,385	72,810
退職給付に係る調整累計額	86,074	71,821
その他の包括利益累計額合計	354,968	252,012
新株予約権	231,714	269,514
非支配株主持分	259,309	293,812
純資産合計	23,752,780	24,264,635
負債純資産合計	29,996,366	32,651,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,138,294	16,768,767
売上原価	9,948,933	12,415,771
売上総利益	3,189,360	4,352,995
販売費及び一般管理費	2,633,364	3,461,865
営業利益	555,996	891,129
営業外収益		
不動産賃貸料	222,058	216,675
その他	42,440	69,638
営業外収益合計	264,498	286,314
営業外費用		
不動産賃貸費用	166,462	171,825
その他	26,690	50,641
営業外費用合計	193,153	222,466
経常利益	627,341	954,977
特別利益		
新株予約権戻入益	385	—
投資有価証券売却益	491	—
段階取得に係る差益	—	44,492
固定資産売却益	—	7,478
特別利益合計	877	51,970
特別損失		
投資有価証券売却損	466	—
特別損失合計	466	—
税金等調整前四半期純利益	627,752	1,006,948
法人税等	191,601	316,110
四半期純利益	436,151	690,837
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,976	25,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	442,127	664,843



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益	436,151	690,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,533	△14,035
繰延ヘッジ損益	△5,424	16,906
為替換算調整勘定	△66,099	△84,553
退職給付に係る調整額	△10,491	△14,252
その他の包括利益合計	△53,482	△95,935
四半期包括利益	382,668	594,902
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,645	561,887
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,976	33,014

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	627,752	1,006,948
減価償却費	250,705	282,829
のれん償却額	57,609	99,126
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,275	14,337
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,010	101,249
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30,367	△6,243
受取利息及び受取配当金	△5,004	△6,643
持分法による投資損益(△は益)	8,141	1,905
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△44,492
売上債権の増減額(△は増加)	△856,851	△2,343,722
たな卸資産及び前渡金の増減額(△は増加)	△675,162	△716,006
仕入債務の増減額(△は減少)	246,034	△347,542
前受金の増減額(△は減少)	710,555	571,162
その他	△34,191	△128,493
小計	331,503	△1,515,584
利息及び配当金の受取額	5,856	6,227
利息の支払額	△2,167	△1,569
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△220,519	△31,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,673	△1,542,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,000	△642,560
定期預金の払戻による収入	540,751	500,000
有形固定資産の取得による支出	△55,240	△86,811
無形固定資産の取得による支出	△82,278	△72,160
長期前払費用の取得による支出	△71,008	△142,922
投資有価証券の取得による支出	△14,180	△273,535
投資有価証券の売却による収入	24,126	—
保険積立金の積立による支出	△58,124	△27,506
保険積立金の解約による収入	4,559	58,293
子会社株式取得に係る預け金の支出	△1,043,275	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△74,308
その他	45,471	59,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,209,198	△702,264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△514,464	—
配当金の支払額	△122,574	△123,121
その他	△6,623	△3,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△643,661	1,472,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,038	22,527
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,753,224	△748,967
現金及び現金同等物の期首残高	4,159,906	3,047,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,406,682	2,298,439

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,060,686	5,077,607	13,138,294	—	13,138,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,247	315	7,562	△7,562	—
計	8,067,934	5,077,922	13,145,856	△7,562	13,138,294
セグメント利益	505,647	300,164	805,811	△249,815	555,996

(注) 1. セグメント利益の調整額△249,815千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249,408千円及び棚卸資産の調整額△407千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,888,407	7,880,360	16,768,767	—	16,768,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,321	475	40,797	△40,797	—
計	8,928,728	7,880,835	16,809,564	△40,797	16,768,767
セグメント利益	729,405	468,810	1,198,216	△307,086	891,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△307,086千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,659千円及び棚卸資産の調整額△4,427千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「設計開発ソリューション事業」セグメントにおいて、ギガヘルツテクノロジー株式会社の株式を追加取得し、連結子会社としたことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては131,441千円であります。